

区分・種別	県指定天然記念物		
名 称	おはつきいちょう お葉つきイチョウ		
所 在 地	四国中央市新宮町新瀬川		
所 有 者	宝乗寺	管 理 団 体	
指定年月日	昭和41年4月5日		
解 説	四国横断自動車道新宮インターより南へ約2km、新瀬川^{しんせがわ}にそった所^{ほうじょうじ}に宝乗寺がある。すぐ前が少年自然の家である。 このイチョウは、宝乗寺境内にあり、根回り約9.2m、目通り4.17mの雌株である。主幹は直立し地上4.0mで四方へ支幹を出す。中央主幹は6mで双幹となり分岐しつつ直立し樹高25mに達する。枝張りは南へ10m、北へ12m、東へ14.5m、西へ10mで紡錘形の樹冠をなし樹勢旺盛である。 地上4mの支幹下より乳瘤が大小約30本ほど下垂している。大きなものは周り60cm長さ2mに達している。「お葉つきイチョウ」の名は、種子が葉の上にできることに由来するもので県下では珍しいイチョウである。		

